

授業改善のための工夫の見せどころシート

教科 _____ 氏名 _____

授業実施日：平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

本時の見せどころは・・・

視点		
科目・研修名		〇〇〇〇
出入口	1 生徒・受講者	①所属 〇〇科〇年〇組 ②人数 〇〇人（男子〇人、女子〇人） ③特徴・ニーズ 〇〇〇・・・
	2 授業・研修の位置づけ	以前学んでいたことで、知らないと困ることは何ですか 〇〇〇・・・ 次にどこで使いますか 〇〇〇・・・
方法・内容	3 本時の内容と具体的方法（C/Eの問い、指導方法、展開）	①題材 〇〇〇・・・ ②C/Eの問い 「〇〇〇・・・？」 ③方法 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 実演 <input type="checkbox"/> 実習 ④ICT <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> _____ 〇〇〇・・・、〇〇〇・・・ ⑤単元計画 (1)・・・ (2)・・・ (3)・・・（本時） (4)・・・
	4 教員の評価の方法	①方法 <input type="checkbox"/> 小テスト、 <input type="checkbox"/> 定期考査、 <input type="checkbox"/> レポート、 <input type="checkbox"/> シート提出、 <input type="checkbox"/> 実技テスト （〇〇〇・・・＜具体的な特徴があれば記述する＞） ②ICEに当てはめると？ <input type="checkbox"/> ideas（知識、技能の習得） 〇〇〇・・・ <input type="checkbox"/> connections（既知の知識） 〇〇〇・・・ <input type="checkbox"/> extensions（応用、活用） 〇〇〇・・・
出口・評価	5 科目や学校全体の教育目標との一致	みつめる力 ☆☆☆ きわめる力 ☆☆☆ つなげる力 ☆☆☆
	6 生徒のリフレクション	〇〇〇・・・
生徒の自己評価	7 ICEモデルに当てはめると	<input type="checkbox"/> ideas（知識、技能の習得）： 〇〇〇・・・できたか？ <input type="checkbox"/> connections（既知の知識・概念や） 〇〇〇・・・できたか？ <input type="checkbox"/> extensions（応用、活用）： 〇〇〇・・・できたか？
	8 教員のリフレクション	〇〇〇・・・
継続	9 IDモデルに当てはめると？	〇〇〇・・・

この吹き出しは消さないでください。
5の☆と対応して
強調した記述をしてください。

小単元の時間数に合わせて表現してください。
また、この授業を（本時）として表示してください。
複数時間配当の場合、
1/2（2時間配当の内の1時間目）のように
表現してください。

重きを置いているところの☆を★としてください。
（イメージは「見方・考え方」）
ひらがなで「ほし」と入力すると出てきます。
右上の吹き出しに、その理由を記述してください。

「生徒の振り返り」ですので、
「～できたか？」の表現にし、
その項目を生徒に評価させてください。

「ID:インストラクショナル・デザイン入門」というプリントや紹介本「～道具箱101」などを御覧ください。
「メリルの第一原理」や「ガニエの9教授事象」、「ARCSモデル」から適用してみてもいいでしょうか？

※日本教育工学会FDセミナー「大学授業設計の点検ワークシート」（2015）に、IDモデル用いた分析及び改善案の検討を追加されたものをもとに、熊本県立第二高等学校版として作成。